

# 市議会だより

## 6月定例会 一般質問

● 14人の議員が市政について質問しました。  
● 主な内容については次のとおりです。

牧野 勝子 議員

### 東日本大震災に学ぶ 西尾市の対応

**問** 災害時要援護者登録は、旧西尾市人口10万9千300人に対して330人、旧幡豆郡3町人口6万人に対して1千657人で、率で3町は市の9倍です。旧西尾市の登録は少なすぎると思いますか、いかがですか。

**答** 登録数330人は、本当に少ない数だと認識しています。今回の東日本大震災の状況を見ると、高齢者の方が多く被害を受けています。高齢者の登録を増やしていきたいと考えています。

**問** 災害時要援護者登録申請書は、日

中一人だけになる高齢者は対象になっていません。これは、一人暮らしと同等の扱いにすべきではありませんか。  
● 家族での対応が可能な世帯は、各家庭で対応していただきます。

**問** 避難場所に指定されている所には、発電機が配置されていますが、定期的に移動させなければエンジンがからなくなる場合があります。その対策は十分ですか。

**答** 避難場所に配置している発電機のメンテナンスについては、市職員が点検しています。配備している発電機は、自主防災会の訓練にも使用しており、使ったまま保管しますと、後日作動しなくなることもありますので、使用方法や管理も含め、今後指導していきます。

**問** 旧西尾市内に26か所の避難所があ

り、旧幡豆郡3町の18か所の避難所とあわせ44か所ですが、その管理を市職員が行うのは大変な労力が必要です。地域に委ねていくことを考えませんか。  
● 昨年、自主防災会の訓練は、約200回実施しています。自主防災会の会議などでも指導していきます。

### 原子力発電の危険性と 西尾市の対応

**問** 市長は、中部電力浜岡原子力発電所の廃炉を国と中部電力に要望すべきではありませんか。

**答** 国の電力政策を見守る必要がありますが、近い将来、発生が予想されている東海・東南海地震に備えて、一層の安全策への取り組みを、国や県、中部電力に強く求めていきます。

**問** 原子力発電には、核廃棄物が出ることから、その処理にも困っています。市長は、今の科学の力で、これが安全だと思われませんか。

**答** 今の福島第一原子力発電所の後処理あとを見ていますと、また人間が制御できる範囲に技術が伴っていないと思っ

ています。

**問** 風評被害を防止する立場から、西尾市として放射能測定をする場合、消防署には線量計がありますか。  
**答** 所有しています。

颯田 栄作 議員

### 旧幡豆郡3町の正午時の 正午警笛と緊急警笛について

**問** 合併後、正午の警笛が鳴らなくなり旧幡豆郡市民は困っています。今まで通り鳴らしませんか。鳴らすことに弊害がありますか。

**答** 賛否両論があり、消防関係の事務すり合わせの中で中止を決定しました。消防の任務以外で無線電波を使用することは、一時的に消防無線の中断が必要で、消防業務に支障をきたす問題点があると、東海総合通信局から指導を受けた経緯があります。

**問** 旧幡豆郡3町は、西尾市との防災意識に違いを感じていませんか。

**答** 市民の生命と財産を守り、市域全体の安心安全が確保されるよう努めることは言うまでもありません。西尾市は夕方1回で、あくまで市民の生命と財産を守るために限って使用していることから、チャイムを鳴らす回数が増やしません。

### 消防団の拡充・育成について

問 消防団の必要性をどのように認識されていますか。また、各種団体との連携はどのようにしていますか。

答 消防団は、その地域に居住又は勤務する人ですので、地域の特殊性や経験、知識を活用でき、地域に密着した災害防衛や避難誘導ができます。平時は、町内会や自主防災組織に防災訓練などを指導し、有事の際には消火、救助、警戒活動に対応していただけるオールマイティな組織と考えています。今後とも消防団の活躍に期待しています。

また、各種団体との連携は必要であり、自主防災組織を所管する防災課と連携をとって訓練などを通して理解を深めていきます。



幡豆消防団出場の操法大会(於 田原市)

### 新西尾市について

問 旧幡豆郡3町の職員との一体化の

進捗率、合併時の職員数、西尾・蒲郡線の利用者及び今年度の退職者はどうですか。

答 幹部職員が朝の庁内放送で、市政への思いや提案の呼びかけや、市政経営品質改善運動などを通して、困り事や問題を共有化して、知恵を絞り、話し合うことで融和を図っています。職員1千800人の内、旧西尾市在住者は920人。その他は880人。西尾蒲郡線の定期利用者は30人です。また、退職予定者は、市民病院関係を除いて5月末で54人。新規採用者は、26人を予定しています。

### 大竹 忍 議員

#### 「事業の見える化」から「財政の見える化」について

問 事業仕分けの判定に対する本年度事業費及び来年度当初予算にどのよう

に反映する計画ですか。  
答 本年度また事業遂行がされていない事業への反映は可能で、次年度当初予算には反映させたいと思います。

問 市の収入と支出を専門用語を使わないで、分かりやすい、例えば、家計簿のような「分かりやすい予算書」を作成し、公開、配布しませんか。

答 現在のところ考えていません。

問 すべての補助事業を対象にした「補助金評価制度」を創設しませんか。  
答 第4次行財政改革実行計画策定の中で検討します。

問 第三者による「市補助金等評価委員会」を設置しませんか。

答 当市に設置している行政評価委員会でも評価することも一つの案であると考えています。

### 公会計改革について

問 当市の公会計の『単式簿記・現金主義』のメリットとデメリットはどのようなですか。

答 メリットは、記帳項目が財産・現金等の出納・増減に限られ、収支の把握が比較的容易です。  
反面、記帳の間違いを見つけにくく、現金以外の資産、負債及び土地、建物、金融資産・負債等のストック情報の把握が困難というデメリットがあります。

問 公有財産や物品などの財産管理や公債、一時借入金、基金からの繰入金等、負債の残高をどのように把握し、会計処理されていますか。

答 地方財政状況調査や、既存の資料を使用して財務諸表を作成しています。

問 公会計を『複式簿記・発生主義』にして、公会計改革を図りませんか。

答 現在、津波高2.2・5メートル

答 『総務省方式改訂モデル』に沿った貸借対照表、行政コスト計算書、資金収支計算書、純資産変動計画書の財務4表を作成しています。

### 本庁舎内における各課の配置と職員配置の適正について

問 合併後の各課の配置状況に混乱はありませんか。

答 大きな混乱はないと考えます。

問 職員の配置は適正ですか。残業時間など把握して、職員の配置変更も考え、仕事の平準化を図りませんか。

答 職員は適正に配置したと考えています。特殊な状況が生じた場合は、グループ制の応援態勢や人事異動を含め、事務の平準化に努めていきます。

### 鈴木 規子 議員

#### 防災対策について

問 合併によって海岸堤防は、61・8キロと4倍も長くなりました。津波に対する備え、耐震工事の進捗はどのようですか。また、港湾部分で対策が必要なところはありますか。

答 現在は、津波高2.2・5メートル対応で、堤防工事は県が担当してお

り、平成26年度完了予定のうち49%まで進んでいます。寺津漁港の耐震診断が必要と考えています。

**問** マグニチュード9を想定すると津波高はどれほどになりますか。避難場所の見直しが必要ではありませんか。

**答** 現在の2倍程度と言われています。浸水エリアも変わってきますので、早急に見直しをする考えです。

**問** 携帯メールでの気象庁、県等の災害情報収集をもっと積極的に市民に勧めませんか。職員もこうした情報収集を行っていくべきではありませんか。

**答** 必要性を感じています。職員には、防災情報の入手を徹底していきます。

**問** 岡崎市のように市独自の浸水情報を提供・発信していきませんか。

**答** 今後、検討してまいります。

**問** 飲料水兼用耐震性貯水槽が、旧3町には1基も設置されておらず、旧西尾市でも不足しています。

**答** 市総合計画の中で検討しています。

**問** 市民病院では日に2000トンの井戸水を使っていますが、三河地震では井戸が使えなくなつたといえます。やはり貯水槽を置くべきではありませんか。

**答** 備蓄は120トンで、当面3日程度は何とかなると思っていますが、設置の優先順位は1位と認識しています。

**問** トイレは大きな問題です。衛生的で大量の汚物処理が可能な「掘り込み便槽付マンホール型トイレ」を避難所にどこに設けませんか。

**答** 備蓄は、組立式が266個、ポータブルが359個ですが、衛生状態が悪くなることは認識しています。田原市など先進事例を早急に研究していきます。



東京杉並区の防災トイレ

**問** 校区ごとの大きな避難訓練ばかりでなく、町内会と連携し防災マップを作ったり、災害時要援護者を助けるなど実践的な訓練を市主導で行いませんか。

**答** 避難所の運営なども含め、今後、計画をつくっていききたいと思えます。

前田 修 議員

合併による旧市町との調整について

**問** 昼12時のサイレンが鳴らせないなら、朝・夕の時報のチャイムを昼に鳴

らせませんか。農漁業に従事する人の切実な願いであり、検討しませんか。

**答** 学校では、授業中の大きな音で、授業に集中できないと聞いていますので、実施することは考えていません。

**問** 授業に影響が出るのは、校舎に設置されたサイレンだからです。学校にも確認しましたが、同報無線によるチャイムで授業に影響は出ません。市長は、12時の時報を鳴らさないことを学校や生徒のせいに行っているのではないですか。

**答** サイレンが鳴らなくても命に係ることではないですし、鳴らなくても行動できるよう自立してください。合併前に1年かけて決めたので理解してください。

**問** 合併で、福祉カードが廃止になり、渡船料や公共施設利用の高齢者割引がなくなりました。西尾のスポーツ施設や、六万石くるりんバスには割引があるので、復活すべきと思いますが。

**答** 新市移行に伴い、事業継続は難しいと判断しました。今後、機会がありますので、再検討します。

西尾市の災害対策について

**問** 災害時の情報伝達について、佐久島は、一色支所経由でN-T-T回線を利用しているとのこと。しかし、災害時

には、N-T-T回線は使えないことを前提とする必要がありますが、どうですか。

**答** どのような災害時にN-T-Tが使えないかを踏まえ、検討していきます。

**問** 津波を想定して、一色中学校の避難体制や液化化対策を講じませんか。

**答** 大震災後、一色中学校の避難計画の見直しと避難訓練を実施しました。

六万石くるりんバスについて

**問** 旧幡豆郡3町の地域にも、六万石くるりんバスを運行しませんか。

**答** 新たな公共交通サービスを検討する必要があると考えています。

**問** 公共交通体系を検討する協議会を発足することとしていますが、構成メンバーで、いつまでに結論をまとめる予定ですか。

**答** 来年度の予算要求に間に合うよう結論をまとめます。また、市民の声が反映されるよう検討しています。



路線延長の要望がある六万石くるりんバス



三河湾から望む新西尾市

高野 邦良 議員

みんなが安心して暮らしていける「社会」について

**問** 家族だけの農家、商店、工場でもやっていた「仕組み」をどのように作り上げていきますか。

**答** 農業協同組合や商工会議所等と連携し、中小零細事業者の振興を図ります。

**問** ささまざまな障害を抱えた方々が、共に働き、社会に参加できる「仕組み」をどのように作り上げていきますか。

**答** 本年度、地域福祉計画及び障害者福祉計画を策定します。障害を持つ方の社会参加や、自立・就労支援施策が推進できるよう努めます。

みんなのふるさとを大切にしよう「社会」について

**問** 周辺の地域がさびれたり、廃棄物捨て場にされたりしない「仕組み」をどのように構築していきますか。

**答** 皆様の意見も多く取り入れ、新市にふさわしい総合計画を創ります。

**問** 乱開発されて、ふるさとの海や山が汚染されてしまわない「仕組み」をどのように構築していきますか。

**答** 豊かな自然環境を次の世代へ継承していくため、都市計画マスタープランの策定を適切に行います。

みんなの子どもたちが希望をいだけ続ける「社会」について

**問** 少人数とか習熟度とか、流行に惑わされて、子どもが仕分けされていく悲しみを防ぐ授業の「仕組み」をどのように進化させていきますか。

**答** 小グループによる活動のよさを生かしながら、子どもに悲しい思いをさせないよう配慮していきます。

**問** 心や体に悩みを抱えた子ども、家庭のさまざまな問題にまきこまれた子ども。でも、みんなで仲良く交流していける学校生活の「仕組み」をどのように進化させていきますか。

**答** ささまざまなニーズを持つ子どもたちへの支援を充実させるために、臨時

職員等の効果的な活用を図ります。

みんなが幸せになる「道」について

**問** 西尾茶（吉良茶も含む）を脈々と育てられているお茶屋さんや茶園、そしてお茶ゆかりの寺院をめぐる「茶の道」を整えませんか。

**答** 今後とも努力していきます。

**問** 吉良町の「赤馬の径」を、黄金堤まで整え、吉良と西尾との歴史的な接点であるその一角に、「融和の駅」を設置しませんか。

**答** アイデアとして受けとめさせていただきます。

鈴木 武広 議員

介護保険の施設整備計画について

**問** 特別養護老人ホームの設置状況はどのようですか。

**答** 西尾市内に4か所、その内1か所は地域密着型小規模施設、旧吉良町と旧幡豆町に1か所合計6施設、定員443人となっております。

**問** 待機者の状況及び施設の設置には、どのような開発要件がありますか。

**答** 平成23年4月末現在、6施設で待機者2千193人、内1千886人が西尾市の在住者です。施設を設置するには、都市計画法、農地法等の規制があります。

**問** 施設設置に伴う国等の補助金の有無、補助金申請の手続は、どれくらいの期間がかかりますか。

**答** 介護基盤緊急整備等特例基金事業費補助金があり、計画書を提出してから交付決定まで約1年かかります。

**問** 介護施設の設置は、どのような計画に基づいて行われますか。

**答** 3か年を1期間とする介護保険事業計画に基づいて計画され、平成24年度から26年度までの第5期事業計画は、今年度検討します。

公共施設の取り扱いについて

**問** 公共施設対策プロジェクトチームの役割はなんですか。

**答** 1点目は、公共施設の現状（237施設の増加）及び問題点の把握です。2点目は、施設の効率的な活用方法です。3点目は、効果的な活用方法についての基本方針をまとめることです。

**問** 今後の具体的なスケジュールは、どのように進めていきますか。

**答** 12月までに基本方針をまとめ、3



西尾市役所 幡豆支所

月までに基本計画として公表し、来年度からは、実施計画を策定できる体制を整えるために、新たな組織及び検討委員会を設置して推進していきます。

**問** 3つの支所の今後の存続と有効活用について、どのように考えていますか。

**答** 現時点においては、存続を前提に考えており、支所機能を廃止する考えはありません。ただし、現在の支所の建物の存続については、施設の老朽化などの諸事情を考慮し、各支所の空きスペースなど、施設の現状把握と分析を行い、市民ニーズや地域性を把握し、再活用する方法について、検討していきたいと考えています。

高須 一弘 議員

一色地区・地域文化広場の再整備事業について

**問** 現計画では、駐車場や広場利用、道路等の周辺環境が現況と比較し不便になると懸念されます。

**答** また、「学びの館」にバス等の来訪者対応も含め、再整備事業の見直しを検討しませんか。

**答** 当時行われたワークショップの意見から、「公民館」と「学びの館」の間に大型バス駐車場の確保を望む声が多ありましたので、この部分で駐車場の確保するよう考えます。

**問** 一色地区は、緑が少ないと言われます。公民館北側の駐車場に植栽を検討しませんか。また、現在育っている30年もののケヤキ等は貴重な緑です。伐採しない配慮を検討しませんか。

**答** 必要箇所においては、一部植栽を検討する考えです。また、既存樹木の配置を十分考慮し、保存可能な箇所は、できる限り残していきたいと考えています。

新市の地震津波に対する防災対策について

**問** 東日本大震災の教訓から新市において、海岸堤防の現時点での耐震化率は何%ですか。

**答** 西尾海岸22%、一色海岸62%、吉良海岸85%、幡豆海岸は、全線が対策不要区間です。

**問** 衣浦14号地にある終末処理場は、広域下水の生命線です。しかし、堤防高も低く、浸水の危険性が高いので、早急な耐震化、かさ上げを愛知県に強く要望しませんか。

**答** 終末処理場は重要構造物であり、新耐震基準を満たしており、液状化については、サンドドレーン等の地盤改良をしており、処理施設の運転稼働に影響はないと伺っています。

**問** 基礎がしっかりしているから大丈夫とのことですが、想定外の高さの津波で、処理場内に浸水した場合の対応はいかがですか。

**答** 電気設備がつかった場合、未知数の期間がかかります。機械については、県から短期間で回復可能と伺っています。

**問** 一色の矢作古川右岸、大塚地区の河川堤防は以前から決壊の心配があります。今後の対応はいかがですか。

**答** ご指摘の地区は、堤防の耐震調査対象区間であり、現在調査検討中と伺っています。調査結果を踏まえ、早急に県に要望してまいります。

稲垣 一夫 議員

名鉄西尾・蒲郡線存続について

**問** 西尾・蒲郡線の高校生利用者は、何人いますか。

**答** 名鉄西尾駅から蒲郡駅間の利用数は、今年の5月現在で市内4高校の合計で594人です。

**問** 名鉄西尾・蒲郡線存続について、今後どのように取り組みますか。

**答** 利用者を増やすことが肝要です。平成20年度、21年度、22年度と着実に利用者は増加しています。さらに発展させるため、市内各種団体等で組織する名鉄西尾・蒲郡線応援団を立ち上げ、市民総ぐるみの運動として、利用促進を図っていきます。

**問** 存続するため、蒲郡市とは引き続き密にしていかなければなりません。どのようにお考えですか。

**答** 利用促進を図るには、西尾市だけの問題としてではなく、沿線自治体が協力して取り組むことが大切です。両市の地域住民、経済界、行政で組織する名鉄西尾・蒲郡線活性化協議会を設置し、利用促進及び沿線の活性化を図ります。

**問** 応援団はいつ設立し、どのような

メンバーで組織しますか。

○ 6月中旬と考えています。メンバーは、町内会、老人クラブ、PTA連協、子ども会連協などの団体のほか、市内高校や小中学校校長会、観光協会や文化協会などと経済界からは、商工会議所、商工会などに加え、市内ロータリークラブ、ライオンズクラブにも参加いただくとともに、名鉄利用促進のために活動を続けていただいている3団体も加え33団体ほどで組織します。



名鉄西尾・蒲郡線「吉良吉田駅」

○ 名鉄西尾・蒲郡線活性化協議会はいつ設立し、どのようなメンバーで組織しますか。また、応援団とはどう違いますか。

○ 設立は、6月下旬を考えています。メンバーは、西尾市、蒲郡市の応援団や活動団体、商工会議所などの団体に愛知県と西尾市、蒲郡市で組織します。なお、オブザーバーとして、名鉄と中部運輸局にも加わっていただく予定です。

す。オブザーバーまで加えようと、17団体となります。

○ 応援団との違いは、応援団が利用促進の実行部隊であるのに対し、活性化協議会は、利用促進や活性化策の協議を行うとともに、名鉄や国に対し、要望をしていきます。

松井晋一郎 議員

新西尾市の発展について

○ 新エネルギー創出の試みとして、太陽光エネルギーや風力発電など、新エネルギーを活用した発電を推進しませんか。

○ 住宅用太陽光発電装置の設置補助制度を設け、推進しています。風力発電施設など大規模発電施設の設置については、市としても周辺環境への影響を見極めながら推進していきます。

○ 自動車関連企業が、7月から9月までの3か月間に限り、木曜日、金曜日休みになります。関連企業に勤務する世帯の影響が考えられますが「寺子屋にしお」や「放課後児童クラブ」は、どのように対応しますか。

○ 「寺子屋にしお」は、運営委員会で対応策を協議していきます。「児童クラブ」は、対象者の把握に努め、日曜日の受け入れを前向きに検討していきます。

災害に強い地域づくりのために

○ 町内会単位で自主防災活動を進めていくことが大切です。例えば、町内会単位での防災計画の作成を支援しませんか。

○ 災害対策には、地域の実情に合わせた実践的な訓練が必要不可欠です。各自自主防災組織の皆さんが、実践的計画を作り活動する場合、行政もできる限り協力します。

○ 災害支援が迅速、円滑に行われるよう、「災害時に地域住民の安全確認に必要不可欠な世帯調査票」の提案、作成支援をしませんか。

○ 地域からの要望があれば行政として、様式の提示など協力をします。



自主防災訓練の様子

これからの障がい者福祉について

○ 共生社会を目指すため、ボランティアの養成・教育は、不可欠と考えます。今後、どのように進めますか。

○ 西尾市社会福祉協議会が、講座、福祉実践教室を開催し、ボランティア団体の登録及び育成を実施しています。今後も社会福祉協議会と連携をとり、育成に努めてまいります。

○ 西三河全体を視野に入れた養護学校の誘致を進めませんか。

○ 特別支援教育のあり方、西尾市第7次総合計画への位置づけ等も視野に入れながら、調査・研究する組織の設置を検討します。

広中 利臣 議員

映像教育とスポーツリズム等について

○ スポーツツーリズム大使や棋士大使等を設置して交流会を開催して、拠点やスポーツ資料館と囲碁・将棋会館等を設置しませんか。そして、各駅等にレンタル自転車を設置してスポーツ施設等をつなぐサイクリングロードを整備したり、清掃体育のプログラムを作成し、ソーラン踊りコンテスト等を設置しませんか。また、テレビ局や映画のプロ等から講義が受けられる授業を開催し、仮称「西尾市映像賞」を設置

して、映像のまちづくりをしませんか。  
 ◎ 拠点や会館や交流会等と、映像教育や仮称「西尾市映像賞」は検討し研究しますが、あとは考えていません。

卓育と読書介護犬などについて

◎ 小1プログラムのスタートカリキュラム作成の指針を作成して、学習サポーターを育成したり、落語家等を学校等に招聘して、対話力向上を図ってまち寄席等で子どもたちとの交流会を開催しませんか。そして、テーブルマナーなどを指導するコーディネーターを育成して卓育の研究を進め、子どもが犬に読み聞かせをする読書介助犬のREAD（読む）プログラムを作成する研究を進めませんか。  
 ◎ 学習サポーターと卓育は考えていませんが、あとは研究します。

放射能と災害協定等について

◎ 放射能対処マニュアルを作成配布して、被爆予防ファシリテーターを配置し、学校や公共施設等に放射性物質測定器を設置して測定記録を公開し、放射能除染設備を設置しませんか。そして、風評被害対策マニュアルを作成して協議会を設置し、各種団体等と災害協定を締結しませんか。また、避難所等に移動式太陽光発電機や充電式風

力発電等照明等を設置し、企業に対して自家発電装置購入補助制度を設置しませんか。  
 ◎ 除染設備と風評被害対策マニュアルは国県等の動向を見ますが、放射能は考えておらず、あとは研究します。

病院のＩＴ化等について

◎ 災害時ＩＴ相互保管協定を締結し、病院のＩＴ化を積極的に進め、近隣病院との再編の協議会を設置し、医療メデイエーターを設置して、メデイエーションの研究を進め、外国人用相談窓口を設置して、通訳を育成しませんか。  
 ◎ データは、外部に保管する方向で、協議会は、近隣の動向を見て検討し、ＩＴと医療メデイエーションは研究を進め、通訳はメリットがあれば検討しますが、相談窓口は考えていません。

安藤 好実 議員

節電対策について

◎ 夏は家庭や事業所でクーラーを使うことから消費電力が非常に高く、環境省では15%の節電目標を求めています。本市では、節電効果のあるLEDの導入や自家発電効果のある太陽光発電を、どのような方向で考えています

か。

◎ 太陽光発電については、積極的に推進し、要望の多い住宅用太陽光発電装置に係る補助金制度について、増額補正をお願いしているところであります。

◎ 市役所を始めとする市の施設の照明をLEDに全部替えるとなりますと、多額の費用がかかりますので、電球の球が切れた時にLEDに交換してはどうですか。  
 ◎ 議員の言われた方向で進めます。



市役所事務室の照明

◎ 愛知県の事業で100%県予算で行うことができる事業があり、緑のカートンにも活用できますが、本市も子ども部を中心に保育園では盛んになってきていることから、こうした事業に応募していく考えはありますか。  
 ◎ 今年度は、NPO法人を通じて9つの保育園で、間接的に活用しています。市も事業主体になれると伺っています。

ので、今後、積極的に活用できるように、努めてまいりたいと考えています。

防災の備えについて

◎ 東日本大震災において、全国から届けられる救援物資は、被災地の集積施設にはたくさん集まり、集積施設から避難所まで運ぶ人手がなくて苦しんでいます。この地域に、予想される東海地震、東南海地震が発生した場合には、どのように人員の確保を考えていますか。  
 ◎ 現在、新市において任務分担再編成作業を進めています。決まり次第、職員に周知をしたいと考えています。

◎ 任務分担再編成作業は、いつ公表できますか。  
 ◎ 新西尾市の地域防災計画の編成作業に合わせ行っていますので、10月末までには公表できる予定です。

◎ 災害時が冬であったり、暴風雨、台風の場合には、各家庭の窓は締め切っており、防災無線だけでは十分機能しませんか、ミニFM局を考えたことがありますか。  
 ◎ 愛知県内には、現在8局のミニFM局があり、導入経過、運営方法について、今後、調査・研究します。

牧野 次郎 議員

高齢者福祉と  
介護保険について

**問** 来年度実施の改定介護保険法は、どのようなもので、その影響と対応はいかがですか。

**答** 地域包括ケアの推進や24時間対応サービスの創設などが予定され、日常生活支援総合事業では、市の判断で介護保険の予防給付で対応するのか、配食や見守りも含めた総合的サービスを利用するのか判断するものとなります。市としては、法改正の趣旨を踏まえながら、必要とされるサービスが十分に提供されるよう検討します。

**問** 次期の高齢者福祉計画・介護保険事業計画のアンケート実施状況と、介護保険料据え置きを考えについては、どのようなですか。

**答** 地域の65歳以上の介護度のない1万5千500人を対象に要介護リスク者、生活習慣の状況を把握するアンケート調査を、また、介護認定者については1千44人を対象に日常生活圏域のニーズについて調査しました。アンケート結果を分析して、第5期の事業計画に反映させます。

介護保険料については、基金の取り

崩しも視野に入れて、計画策定委員会で検討していきます。

**問** 介護保険居宅介護サービス費等利用者負担額助成事業の拡充をされませんか。

**答** 現時点では考えておりません。

**問** 合併で助成事業は引き下げられましたが、どのように感じますか。

**答** 違和感はないのではないかと承知しています。

**問** 市長はご存知でしたか。

**答** 存じておりませんでした。

**問** 配食サービスの日数を近隣自治体並みに拡充し、介護食や糖尿病、腎臓病などの治療食対応もされませんか。

**答** 現行の平日5日については、土日の利用も含め、利用者の意向とか委託業者もあることなので、調査して反映してまいります。介護食や治療食の対応は、委託業者から実施困難と回答がされています。

**問** 緊急通報システムの一層の普及と福祉電話制度を実施しませんか。

**答** より多くの皆さんに利用いただくために、普及啓発を行います。福祉電話については、近隣でも実施されており、補助内容などについて検討します。

永山 英人 議員

西尾市における  
節電計画について

**問** 浜岡原子力発電所の一時運転停止により、西尾市として、どのような影響を想定していますか。

**答** 今夏の供給予備率は、見込まれる最大電力の4・8%から6・9%程度と予想され、安定供給の目安とされる供給予備率は、8%から10%とされており、極めて厳しい状況であります。

**問** 市役所での節電を具体的に紹介し、市役所から発信する節電計画を示しませんか。

**答** 「西尾市節電エネルギー対策本部」を設置し、クールビズ・ノー残業デーの実施、庁舎や公共施設の空調管理、照明の一部消灯などの対策をし、節電意識を高め、省エネルギー・新エネルギー生活への転換を促進します。

**問** 節電意識の向上を進めるためにも家族が一緒に過ごす日「ファミリーデー」を設定してはどうですか。

**答** ファミリーデーを設定する予定はありませんが、多くの市民が節電に関心を持って取り組んでいただけるように広く啓発・周知をします。

環境を考えた竹林の  
手入れと活用法について

**問** 4月から5月には、幡豆の山々でたけのこ掘りを楽しむことができます。しかし、年々人が足を踏み入れることのできる場所が少なく、竹が伸び放題になっています。竹林の現地調査をしませんか。

**答** 時代の変遷により、竹林を含めた里山の管理が十分できない状況となり、放置竹林が増加しています。

しかし、竹林の管理は、原則、所有者が行うものと考え、現時点では、市で調査をする予定はありません。

**問** シルバー人材センター幡豆支所において、竹炭作りをしています。竹炭の良さを、PRしてはどうですか。

**答** いきものふれあいの里で、「竹炭焼きの体験学習」「竹林整備・竹筒でこはんを炊こう」など、行事を開催していきます。今後も竹炭や竹の有効利用について、PRしします。



竹炭・蒸留竹酢液



## 6月定例会で可決された議案



- ☆ 人権擁護委員に榎田初恵氏の推薦に同意しました。
- ☆ 西尾市公平委員会委員に牧野とよみ氏を選任することに同意しました。
- ☆ 西尾市農業委員会委員に議員2人と菱池町北村道子氏、吉良町天野雪江氏の4人を推薦しました。

★西尾市市税条例の一部を改正する条例の制定について	地方税法の一部を改正する法律等が公布されたことに伴い、改正するものです。
★西尾市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	地方税法施行令の一部を改正する政令が公布、施行されたことに伴い、改正するものです。
★西尾市下水道条例の一部を改正する条例の制定について	(社)日本下水道協会愛知県支部が愛知県下水道協会に名称変更されることに伴い、改正するものです。
★西尾市地区計画の区域内における建築物制限条例の一部を改正する条例の制定について	地区整備計画区域を追加することに伴い、改正するものです。
★西尾市ふれあい広場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	西尾市ふれあい広場の管理・運営について指定管理者制度を導入するため、改正するものです。
★市道路線の認定について	開発行為で建設された道路や管理移管される道路を市道として管理するため、認定するものです。
★辺地総合整備計画の変更について	計画計上事業の見直しにより、辺地対策事業債の予定額を変更するものです。 (辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律第3条第5項)
★平成23年度西尾市一般会計補正予算(第2号)	既定の予算の総額に歳入歳出それぞれ2億4,929万6千円を追加するものです。
★財産の取得について	老朽化及び自動車NOx・PM法の定めにより化学消防ポンプ自動車を更新するものです。

### ■ 6月定例会に出された請願書・陳情書

★西尾市内に養護学校設立を要望する旨の請願書	西尾市中畑2-75 中根愛子 :(紹介議員) :中村行男 :山田慶勝	採択
★「TPPへの参加に反対する意見書」を求める陳情	豊田市久保町2-5-1 日本の食糧・農業・健康を考える愛知の会 愛知県労働組合総連合 議長 樽松佐一 他2団体	趣旨採択
★働く者の権利を守り、住民の安全・安心を確保し、憲法擁護・核兵器のない世界を求める陳情書	名古屋市北区柳原3-7-8 春の自治体キャラバン実行委員会 代表 樽松佐一	不採択
★働く者の権利を守り、住民の安全・安心の確保を求める陳情書	名古屋市北区柳原3-7-8 春の自治体キャラバン実行委員会 代表 樽松佐一	不採択
★郵政民営化抜本見直しに関する陳情書	名古屋市中村区名駅1-1-1 郵政産業労働組合東海地方本部 委員長 藤森茂里夫	不採択

## ■ 5月臨時会で可決された議案

☆ 西尾市監査委員に工藤光雄氏、西尾市固定資産評価員に榊原好幸氏の選任に同意しました。

<p>★専決処分の承認について</p>	<p>合併による消滅団体（旧幡豆郡3町及び広域連合等）の収入未済金・未払金を平成23年4月1日付けで西尾市へ引き継ぐ予算を専決処分する。</p> <p>一般会計 8億1,852万4千円、国民健康保険特別会計始め6特別会計10億4,224万4千円を承認する。</p>
<p>★西尾市農業委員会の選挙による委員の定数及び選挙区に関する条例の一部を改正する条例の制定について</p>	<p>合併により、農業委員の定数を一色町(第5選挙区)6人、吉良町(第6選挙区)7人、寺部町・鳥羽町・西幡豆町及び東幡豆町(第7選挙区)3人の計16人とし、総数32人とする。</p>
<p>★工事請負契約について</p>	<p>(仮称)室場こども園保育園棟建設(契約額3億3,600万円)及び矢田小学校校舎増築工事(契約額1億7,493万円)の請負契約を締結する。</p>

### 9月定例会市議会 開催予定のお知らせ

1日(木)	本 会 議
2日(金)	本 会 議
5日(月)	本 会 議
6日(火)	本 会 議
8日(木)	厚生委員会
9日(金)	文教委員会
12日(月)	経済建設委員会
13日(火)	企画総務委員会
14日(水)・15日(木)・16日(金)・20日(火)	決算特別委員会
30日(金)	本 会 議

開会時間は午前10時です。

\*本会議は議場  
\*委員会は第一委員会室

議会テレビ中継のお知らせ(予定)  
放送日

9月5日(月) (9月2日 一般質問)  
9月7日(水) (9月5日 一般質問)  
9月20日(火) (9月6日 一般質問 開会するとき)  
ケーブルテレビ「キャッチ」  
デジタル 107CHで放映

【放送開始時間】

いずれも18時からです。

インターネットで議会を見てみよう

西尾市議会ホームページから  
アクセスできます。ぜひご覧ください。

### 編 集 室

東日本大震災から4か月が経ちましたが、未だ明確な復興のめどは立っておりません。7月には西尾市からも災害ボランティアが派遣され、岩手県大船渡市へ被災地支援に行ってきました。紙面をお借りして、亡くなられた多くの皆さまのご冥福をお祈り申し上げますとともに、今なお避難所生活を強いられている被災者の皆さまへ心からお見舞い申し上げます。

一日も早い復興をお祈り申し上げます。

このような状況の中、新しい『西尾市』が誕生しました。

6月議会が6月1日から28日まで開会され、6月2日、3日、並びに6日の3日間にわたり14人が一般質問を行いました。4月24日の増員選挙後初めての定例会で、皆さまの関心も高いことと思います。

質問内容も防災(災害)対策をはじめ福祉、行政サービスについてなど多岐にわたりました。旧幡豆郡3町からも7人の議員が登壇し、旧町を含めた新西尾市の市政について多くの質問がありました。

旧幡豆郡3町選出の10人の議員を新たに迎え、より活発化した西尾市議会にご期待ください。私たち市議会議員は、議会の立場から、行政、市民の皆さまとともに新西尾市の発展のため全力で取り組んでいます。

暑い日が続いています。熱中症には十分お気を付けていただき、楽しい夏をお過ごしください。国家の価値は、結局それを構成する個人個人の価値である。

ジョン・スチュアート・ミル(哲学者・経済学者)

#### 議会だより編集委員

◎ 小林 敏秋 ○ 稲垣 一夫  
松井晋一郎 前田 修  
鈴木 正章 颯田 栄作  
鈴木 規子 広中 利臣

西尾市議会議会だより編集委員会

電話 56-2111  
FAX 54-0311

■市ホームページ (<http://www.city.nishio.aichi.jp/>) で、本会議、委員会の会議録(質問者、回答者のすべての内容)が閲覧できます。